



Anniversary Party

一般社団法人名古屋林業土木協会
創立60周年記念祝賀会

と き：2025年（令和7年）10月20日（月）
ところ：名鉄グランドホテル 柏の間

一般社団法人名古屋林業土木協会 創立60周年記念祝賀会出席者名簿

順不同、敬称略

農学博士	洪澤 寿一	(株)熊崎組	代表取締役社長	熊崎 靖之
参議院議員	渡辺 猛之	(株)熊崎組	専務取締役	熊崎 将太
林野庁 中部森林管理局長	佐伯 知広	(株)梅田組	代表取締役	梅田 桂司
〃 次長(名古屋事務所長)	宮島 智幸	今井建設(株)	取締役	今井 健太
〃 名古屋事務所副所長	松田 恵	付知土建(株)	代表取締役	三尾 秀和
(一社)日本林業土木連合協会 専務理事	堂本 整	付知土建(株)	常務取締役	三尾 隆介
(一社)長野林業土木協会 会長	木下 修	付知土建(株)	営業部長	曾我 誠
(一社)日本林業土木連合協会 事務局	豊田 紫	田口土木(株)	代表取締役	田口宗甫
事務局OB	前原 正晴	(株)中島工務店	代表取締役	中島 健
事務局OB	洞口 儀弘	大宗土建(株)	代表取締役	杉山 一樹
事務局OG	石原壽美子	三留野土建(株)	代表取締役	森 正人
新栄建設(株) 代表取締役社長	高平 公輔	(株)加藤工務店	代表取締役社長	加藤政太郎
新栄建設(株) 取締役営業部長	高平 侑	(株)佐々木工務店	代表取締役	佐々木典博
酒井建設(株) 取締役社長	酒井 健吉	(株)矢野土木	代表取締役	矢野 克也
伊藤建設(株) 代表取締役	伊藤 甚宰	(有)共和土木	代表取締役	堀 豊次
伊藤建設(株) 営業部次長	矢木 克之	小坂建設(株)	代表取締役	小坂健太郎
安達建設(株) 代表取締役	安達 正彦	小坂建設(株)	土木部土木課長	小坂 孝二
中越興業(株) 代表取締役社長	山下 博	小坂建設(株)	専務取締役	小坂 秀昭
中越興業(株) 営業部課長	中村 憲治	森建設(株)	専務取締役	森谷 誠
大高建設(株) 営業部長	竹谷 徹	橋本建設(株)	代表取締役	橋本 伸一
大高建設(株) 専務取締役	大橋 賢生	西濃建設(株)	代表取締役社長	宗宮 郷
(株) 東城	吉田信一郎	西濃建設(株)	土木部課長補佐	五十君正人
(株) 神高	井上 英司	田中建設工業(株)	代表取締役	田中 義巳
(有)下仲組	下仲 真幸	(株) 所組	代表取締役社長	所 克仁
加藤土木(株)	加藤 勝	(株) 所組	常務取締役	後藤 千夏
加永建設(株)	加藤 仁成	青協建設(株)	代表取締役社長	波多野篤志
宝興建設(株)	谷本 秀之	青協建設(株)	営業部マネージャー	服部 弘二
(株) 洞口	洞口 修二	(株)尾割組	代表取締役	尾割 洋介
(業)H・C建設	堂前 弘一	(株) 安藤	代表取締役	安藤 和央
(株) 柳組	柳 七郎	(株) 安藤	専務取締役	安藤 智規
(株) 柳組	柳 憲嗣	(株)杉田組	代表取締役	杉田 昌巳
(株)谷上組	杉浦 仁司	(株)杉田組	工事部管理課長	杉田 大地
(株)清水建設	清水 昭徳	名古屋造林素材生産事業協会 専務理事		酒向 邦夫
(株)林工務店	柚原 千幸	(司会) FORDAYS(株) スターディクター		水野 千香
(株)水口土建	水口 靖之	(司会) 料理研究家		大島嘉月代
大山土木(株)	野中 豊	(演) ソプラノ歌手		渡邊 万貴
(株)長瀬土建	長瀬 雅彦	(演) Piano奏者		中川 歩美
ナガイ(株)	村上 聡	(演) Jazzシンガー		内田 玲子
金子工業(株)	金子 文一	(演) JazzPiano奏者		水野久美子
金子工業(株)	日下部伸哉	(一社)名古屋林業土木協会 事務局		千葉 求
金子工業(株)	金子 広孝			

※順不同、敬称略です。

私たちの生き立ち *法人登記まで

1947年（昭和22年）林政統一によって、名古屋営林局が新設され、愛知、岐阜、富山の3県にまたがる国有林を所管し、当時国有林約178千ha、御料林約76千haを併合し、これに公有林野等官行造林地7千9百haを加えて経営がスタートしました。

戦後の復興、復旧に向けた国有林の取り組みの中で、森林鉄道から自動車道への切り替え工事、生産力増強計画の中で林道網の拡充整備を推進、1959年（昭和34年）の伊勢湾台風による大きな被害が引き金となり、翌年、治山治水緊急措置法の制定と新しい治山十カ年計画が策定されるなど、治山事業の強化が図られました。

このような情勢に応えるべく、請負事業体の側でも国有林の事業を実施している事業体組織を作ろうと、1956年（昭和31年）4月、名古屋市の丸栄ホテルに約70名が参集し「名営山和会」を設立、会長には中部建設株式会社社長 塩崎 真次氏が就任しました。

しかしこの会は申し合せ団体で会則は無く、主として業者間の統制を目的としていたため、1958年（昭和33年）8月に塩崎会長が辞任すると同時に会は解散しました。

翌月、名古屋市内の香取旅館に15名の有志が集い「同業者が緊密強力な組織を持つことは業者共存の理想」を趣旨とし、新たに「名営建設協会」を設立しました。

全文15条からなる定款を定め「本会は会員相互の協力及び技術の向上を図り関係官庁との連絡を緊密にし事業の完遂を期す」とした活動方針を定め、会長には株式会社大東建設社長の秀山英吉氏が就任しました。

この設立総会には同年6月に林野庁長官を退官された石谷憲男氏が臨席され、『林業土木業者が大同団結し技術の向上と経営基盤の強化を図るよう』会う業者ごとに説かれたと記されています。当時の取り巻く情勢に応えるべくして会は設立されました。

1962年（昭和37年）12月、大日本土木株式会社取締役兼名古屋支店長の田口 栄氏が会長に就任し、1965年（昭和40年）10月20日、以下の趣意書の下、社団法人名古屋林業土木協会の法人登記が完了しました。

「森林を合理的に経営し、森林のもつ有機的な機能を一層向上せしめることによって、資源の培養、生産力の増強および国土の保全を図ることは、わが国の林業における重大な使命である。林道及び治山の両事業は、これらの課題に応える林業の基礎となる事業で、従来から実施されてきたところであるが、近年、事業量の著しい増大、機械化の導入および新工法の開発ならびに、労務、資材および金融諸情勢の著しい変化に伴い、技術の向上、経営基盤の確立等林業の近代化対策が重要な問題となっている。

これらの要請に応えるため、ここに名古屋営林局管内における有志相図り、林業土木事業の発展を通じ林業の振興に寄与する目的をもって、名古屋林業土木協会を設立するものである。」

「林土連10年の歩み（昭和45年11月発行）」から





一般社団法人名古屋林業土木協会 創立60周年記念祝賀会次第

- 1 開宴
- 2 会長挨拶
- 3 乾杯
- 4 来賓祝辞
- 5 来賓紹介
- 6 記念アトラクション

第Ⅰ部 クラシック名曲コンサート ♪

“乾杯の歌” オペラ:椿姫より
“Think of me” ミュージカル:オペラ座の怪人より
“Stand Alone” ドラマ:「坂の上の雲」主題歌
“O mio babbino caro” オペラ:ジャンニスキッキより

第Ⅱ部 60周年お祝いコンサート 🎵

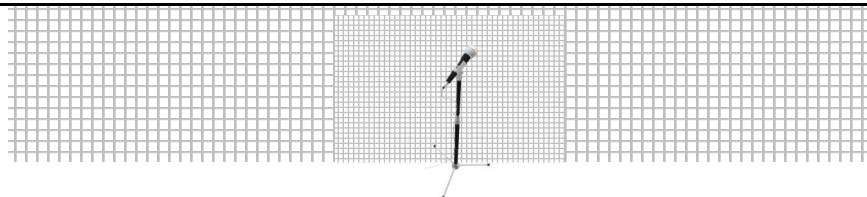
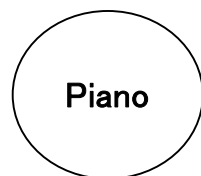
昭和歌謡 ～あの歌この唄～

< 歓談 >

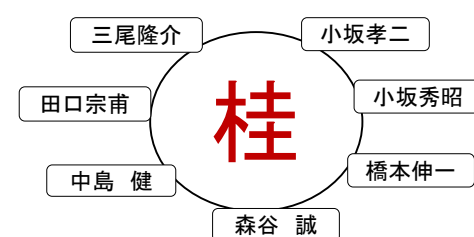
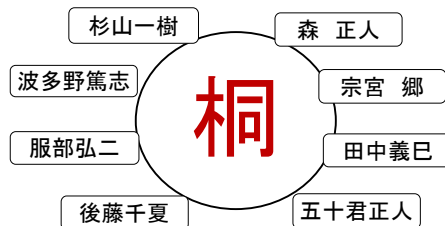
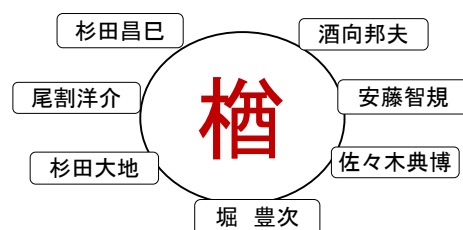
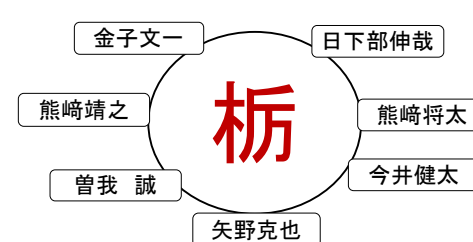
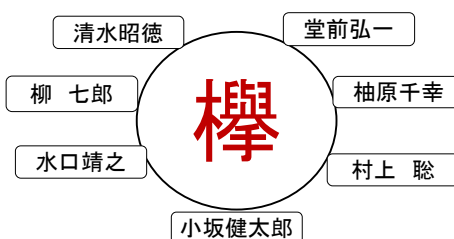
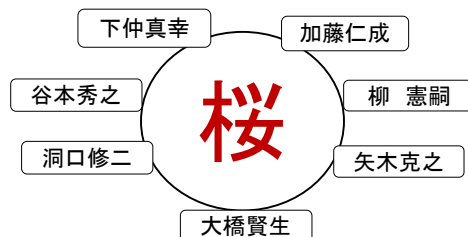
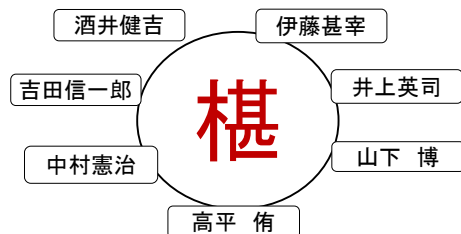
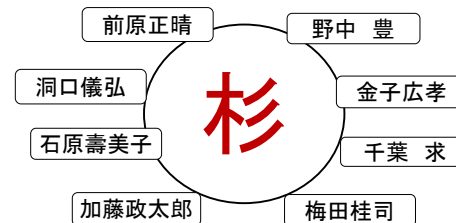
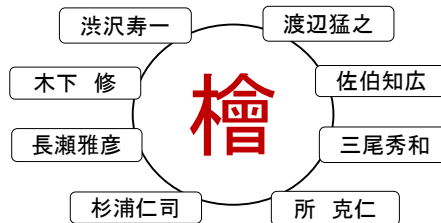
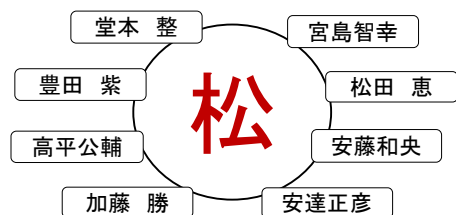
- 7 中締め
 - 8 閉宴の挨拶
- 

一般社団法人名古屋林業土木協会創立60周年記念祝賀会 席図

日時: 令和7年10月20日(月)18:00～ 場所: 名鉄グランドホテル 11階「柏」



司会



出入口

ドリンクコーナー

出入口

※ 敬称略
出席人数: 74名